

「フリーワード」入力ボックスの仕様が変わります！

今回の「Web OYA-bunko」リニューアルに伴い、「フリーワード入力」の初期値を「Google 式検索」に仕様変更いたします。

これまで複数のワードをスペースで区切る場合、「OR 検索(いずれか含む)」を初期値としていましたが、リニューアル後は、ネット検索の主流である「AND 検索(すべて含む)」が初期値となります。ラジオボタンで「OR 検索」に切り替えることができますので、ベテランユーザーの皆様にはこれまで通りの使用感でご利用いただけます。下記に検索例を示しましたのでご参考ください。

例：「主要都市の人気カフェを調べたい」場合

これまでの検索画面では…

<p>フリーワード スペースで区切ると OR検索。1ボックスに5単語まで。ボックス間は、ANDかNOTを選択。</p> <p> <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> NOT <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> NOT </p> <p>現在の仕様ではフリーワードボックス内のスペース区切りは全て「OR 検索」です。ボックスとボックスの関係を「AND」にするか「NOT」にするかをラジオボタンで選択します。</p>	<p>フリーワード スペースで区切ると OR検索。1ボックスに5単語まで。ボックス間は、ANDかNOTを選択。</p> <p> <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> NOT <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> NOT </p> <p>都市名・業種・キーワードを掛け合わせることでより広範囲かつ複雑な絞り込みが可能です。1つのボックスに入力できるのは5ワードまでです。</p>
---	---



新しい検索画面では…

<p>トップメニュー > フリーワード検索</p> <p>フリーワード</p> <p> <input checked="" type="radio"/> すべて含む <input type="radio"/> いずれか含む </p> <p>スペースで区切るとand検索。1ボックスに10ワードまで</p> <p>除く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◀ デフォルトの入力欄は「すべて含む(AND 検索)」 ◀ 「除く(NOT 検索)」のボックスは独立 ◀ ラジオボタンで「いずれか含む」を選択すると入力欄が追加されます。(最大3段) ◀ 1つのボックスに入力できるのは10ワードまで
<p>「AND 検索」(初期値)だと…</p> <p>フリーワード</p> <p> <input checked="" type="radio"/> すべて含む <input type="radio"/> いずれか含む </p> <p>東京 カフェ 人気</p> <p>除く</p> <p>「東京 カフェ 人気」をすべて含む簡単検索です。これだけでも一定の検索結果を得られますが、より広範な結果を得るには「いずれか含む (OR 検索)」がおすすめです。</p>	<p>「OR 検索」にすると…</p> <p>フリーワード</p> <p> <input type="radio"/> すべて含む <input checked="" type="radio"/> いずれか含む </p> <p>東京 大阪 福岡 名古屋 札幌</p> <p>and</p> <p>カフェ 喫茶 +</p> <p>除く</p> <p>ラジオボタンで「いずれか含む」を選択すると2段目に新規入力ボックスが表示されます。+マークを押すと3段目のボックスが表示されます。ボックス間の関係は「and」となります。</p> <p>これまで通りの検索をされる場合はこちらをご利用ください。</p>

※画面は開発中のイメージのため、実物と異なる場合があります。